

中野を読むⅡ 江戸文献史料集

～内容～

1 地誌 7～32

〈諸国里人談・新編江戸志・新編江戸名所図誌
武蔵演路・江戸紀聞・武蔵野話・江戸図解集覽
江砂餘礫・武蔵名所考・江戸名所花曆・東都歳時記
砂子の残月・絵本江戸土産〉

2 紀行・随筆・日記 33～94

〈紫のひとと・元禄宝永珍話・塩尻・譚海
燕石雑志・豊芥子日記・狂文あづまなまり・御嶽菅笠
古今雜談思出草紙・玉川浜源日記・藤岡屋日記〉

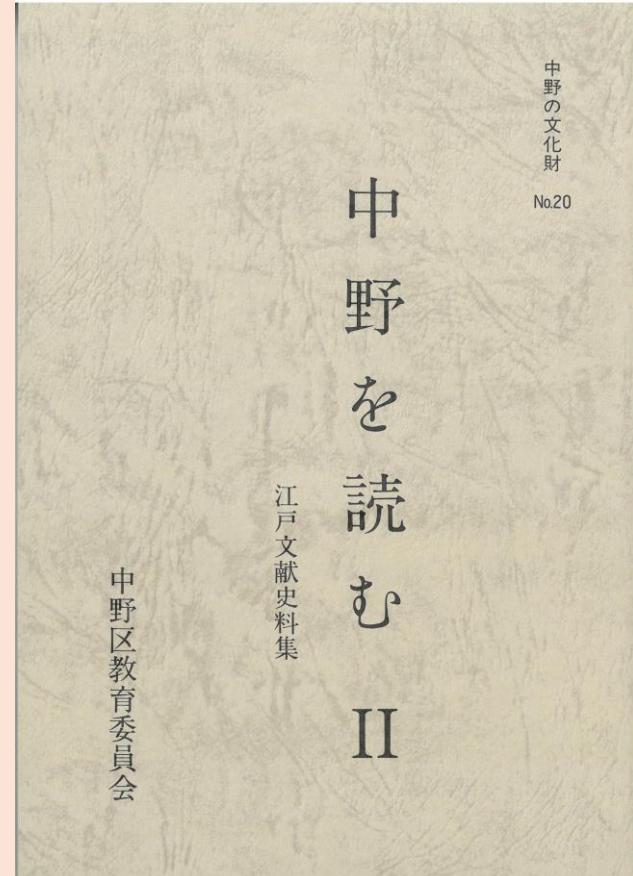
3 史記 95～129

〈鎌倉大草紙・小田原衆所領役帳・武蔵田園簿
御當代記・竹橋蠶簡抄・竹橋餘筆・青標紙
徳川實紀・續徳川實紀・武江年表〉

～収録内容～

長崎から来た象の話（豊芥子日誌）、江古田で起きた殺人事件（藤岡屋日記）、将軍家光も何回も訪れた中野の鷹狩（徳川實紀）など。

江戸時代の文献から中野の地誌・紀行・随筆・世間話などを集め、収録しました。花見の名所、不思議な話、江戸の事件、代々将軍の中野での鷹狩りなど知られざる中野の秘話が満載です。



発行：平成8年6月 第2版
A5判
143ページ
価格：500円